



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月10日

上場会社名 株式会社遠藤照明 上場取引所 大
 コード番号 6932 URL <http://www.endo-lighting.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 遠藤 良三
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営品質本部長 (氏名) 佐川 武志 (TEL) 06-6267-7095
 四半期報告書提出予定日 平成24年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績 (平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	9,682	117.4	2,182	524.1	2,078	642.6	941	—
24年3月期第1四半期	4,453	22.5	349	298.0	279	—	△46	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 1,048百万円(—%) 24年3月期第1四半期 △59百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	71.72	71.42
24年3月期第1四半期	△3.69	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	37,395	14,020	37.5
24年3月期	33,245	8,954	26.9

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 14,016百万円 24年3月期 8,947百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	12.50	—	17.50	30.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想 (平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	20,800	88.9	4,500	261.3	4,200	284.3	2,400	—	174.17
通期	35,300	31.5	6,100	47.1	5,500	57.4	3,600	64.9	255.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

詳細は、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

なお、平成24年6月5日を払込期日とする一般募集による新株式発行及び自己株式の処分により、期中平均株式数が増加したため、1株当たり当期純利益につきましては、増加後の期中平均株式数を基に算出しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー 社 (社名) 、 除外 ー 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)当第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	14,418,668株	24年3月期	13,462,068株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	50株	24年3月期	843,450株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	13,132,903株	24年3月期1Q	12,618,618株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要の本格化により内需は堅調に推移しましたが、円高の進行、欧州債務危機及び新興国経済の成長鈍化等により輸出の伸びは減速し、全体としては穏やかな成長に留まりました。

このような経済状況の下で、当社グループは、高付加価値空間創造企業として、省エネ性能を重視した高効率LED照明器具の新製品開発、製造及び販売に経営資源を集中させて取り組みました。原発の再稼動見送りによる電力不足、省エネ志向の高まりもあって、高効率なLED照明器具への需要は旺盛となり、当社は、対前年同四半期比で大幅な増収を達成し、当第1四半期連結累計期間の売上高は96億82百万円（前年同四半期比117.4%の増収）となりました。

売上高の急伸に加えて、業務効率の改善にも積極的に取り組んだ結果、当第1四半期連結累計期間における経常利益は20億78百万円（前年同四半期比642.6%の増益）となりました。

円高の進行により、将来の為替リスクに備えるための為替予約等の評価損6億1百万円を特別損失に計上しましたが、四半期純利益は9億41百万円（前年同四半期は46百万円の四半期純損失）と対前年同四半期比で増益を確保しました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①照明器具関連事業

当セグメントにおきましては、業務用LED照明器具分野で業界トップクラスの品揃えを実現し、東京、大阪、名古屋、札幌、福岡、広島、仙台の7大都市に設置したショールームにおける展示会の開催等の積極的な販売活動を展開することにより、業務用LED照明分野における高いブランドイメージの確立に努めました。新製品に対する大手設計事務所、ゼネコン、サブコン等の評価も高く、商業施設やオフィス等の大型施設向けの販売が順調に推移しました。

海外子会社であるENDO Lighting (THAILAND) Public Co., Ltd. 及び昆山恩都照明有限公司（中国）は、LED照明器具の主力製造工場として生産体制を強化し、高品質でローコストな製品の安定供給を実現、当社グループの売上高及び利益の拡大に貢献しました。

この結果、売上高は94億49百万円（前年同四半期比117.9%の増収）（セグメント間取引含む。以下同じ。）、セグメント利益（営業利益。以下同じ。）は24億15百万円（前年同四半期比255.1%の増益）となりました。

②環境関連事業

当セグメントにおきましては、当社グループの提供する、省エネ性能を重視した高効率LED照明器具や制御機器の消費電力削減効果が、食品スーパーを始め流通店舗で高い評価を得て、レンタル契約実績、機器販売高は順調に増加しました。

この結果、売上高は9億82百万円（前年同四半期比177.1%の増収）、セグメント利益は1億62百万円（前年同四半期比181.4%の増益）となりました。

③インテリア家具事業

当セグメントにおきましては、業務用家具に特化したカタログを建築士やインテリアデザイナー等に配布し、積極的な販売促進活動を展開する一方、代理店網の強化や特注家具の販売にも積極的に取り組み、ブランド認知度の向上と販路開拓に注力しました。インテリア家具事業を取り巻く環境は依然として厳しい状況にありますが、更なるコストダウン・物流合理化を推進することで採算性の向上

を図っております。

この結果、売上高は2億14百万円（前年同四半期比99.9%の増収）と増収を確保したものの、採算面は厳しく、セグメント損失は59百万円（前年同四半期は16百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産)

当第1四半期連結会計期間における総資産は373億95百万円（前連結会計年度末比41億49百万円の増加）となりました。

主な要因は、一般募集による新株式発行及び自己株式の処分を行ったことによる現金及び預金の増加18億21百万円、たな卸資産の増加17億69百万円によるものであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間における負債は233億74百万円（前連結会計年度末比9億16百万円の減少）となりました。

主な要因は、借入金の減少14億94百万円、未払法人税等の減少14億13百万円及び第三者割当による転換社債型新株予約権付社債の発行に伴う増加10億円によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間における純資産は140億20百万円（前連結会計年度末比50億66百万円の増加）となりました。

主な要因は、一般募集による新株式発行を行ったことによる資本金の増加11億26百万円、一般募集による新株式発行及び自己株式の処分を行ったことによる資本剰余金の増加28億62百万円、四半期純利益9億41百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における業績の進捗等を勘案し、業績予想の見直しを行った結果、平成24年5月11日に公表しました平成25年3月期第2四半期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日公表の「平成25年3月期第2四半期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、通期の業績予想につきましては、現時点で見直しをせず、通期の業績予想の修正が必要であると判断した時点で、速やかに開示いたします。

[平成25年3月期 第2四半期連結累計期間（平成24年4月1日～平成24年9月30日）連結業績予想]

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
①前回発表予想	百万円 16,700	百万円 2,700	百万円 2,400	百万円 1,500	円 銭 118.87
②今回修正予想	20,800	4,500	4,200	2,400	174.17
③増減額 ②-①	4,100	1,800	1,800	900	—
④増減率 ③/①	24.6	66.7	75.0	60.0	—
(参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	11,010	1,245	1,092	64	5.10

(参考)

[平成25年3月期 第2四半期累計期間(平成24年4月1日～平成24年9月30日) 個別業績予想]

	売上高	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
①前回発表予想	百万円 15,500	百万円 1,900	百万円 1,200	円 銭 95.10
②今回修正予想	20,000	3,500	2,000	145.15
③増減額 ②-①	4,500	1,600	800	—
④増減率 ③/①	29.0	84.2	66.7	—
(参考)前期第2四半期実績 (平成24年3月期第2四半期)	10,800	807	202	16.01

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産につきましては、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,828	4,650
受取手形及び売掛金	6,869	7,578
商品及び製品	5,122	6,648
仕掛品	632	553
原材料及び貯蔵品	3,472	3,795
繰延税金資産	1,038	962
その他	1,736	802
貸倒引当金	△2	△8
流動資産合計	21,699	24,981
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,798	5,041
減価償却累計額	△2,093	△2,126
建物及び構築物(純額)	2,704	2,915
機械装置及び運搬具	1,582	1,646
減価償却累計額	△1,108	△1,100
機械装置及び運搬具(純額)	474	545
土地	4,093	4,083
リース資産	546	624
減価償却累計額	△12	△45
リース資産(純額)	534	579
建設仮勘定	297	571
その他	2,744	3,082
減価償却累計額	△1,793	△1,904
その他(純額)	950	1,177
有形固定資産合計	9,056	9,873
無形固定資産		
ソフトウェア	641	606
ソフトウェア仮勘定	1	6
のれん	816	852
リース資産	—	15
借地権	71	75
電話加入権	2	2
無形固定資産合計	1,534	1,559
投資その他の資産		
投資有価証券	216	202
繰延税金資産	413	451
その他	449	449
貸倒引当金	△123	△122
投資その他の資産合計	955	981
固定資産合計	11,546	12,413
資産合計	33,245	37,395

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,191	4,317
短期借入金	6,670	5,019
1年内返済予定の長期借入金	1,188	1,244
1年内償還予定の社債	300	300
リース債務	101	128
未払法人税等	1,984	570
賞与引当金	488	269
役員賞与引当金	30	—
製品保証引当金	323	400
デリバティブ債務	272	373
その他	1,738	1,693
流動負債合計	17,289	14,316
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	1,000
長期借入金	3,278	3,379
リース債務	620	654
退職給付引当金	450	450
役員退職慰労引当金	379	384
修繕引当金	13	16
デリバティブ債務	2,056	2,506
その他	202	665
固定負債合計	7,001	9,058
負債合計	24,290	23,374
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,529	4,655
資本剰余金	2,176	5,039
利益剰余金	3,588	4,309
自己株式	△249	△0
株主資本合計	9,045	14,004
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6	△2
為替換算調整勘定	△104	14
その他の包括利益累計額合計	△97	11
少数株主持分	6	4
純資産合計	8,954	14,020
負債純資産合計	33,245	37,395

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	4,453	9,682
売上原価	2,342	5,048
売上総利益	2,111	4,633
販売費及び一般管理費	1,761	2,450
営業利益	349	2,182
営業外収益		
受取利息及び配当金	2	1
受取賃貸料	7	7
仕入割引	4	1
為替差益	—	8
その他	8	24
営業外収益合計	21	44
営業外費用		
支払利息	23	41
売上割引	45	74
為替差損	19	—
その他	2	32
営業外費用合計	91	148
経常利益	279	2,078
特別利益		
固定資産売却益	0	0
特別利益合計	0	0
特別損失		
デリバティブ評価損	296	601
その他	15	16
特別損失合計	312	617
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△32	1,461
法人税、住民税及び事業税	69	488
法人税等調整額	△50	31
法人税等合計	18	520
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△50	940
少数株主損失(△)	△3	△1
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△46	941

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△50	940
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△9
為替換算調整勘定	△10	118
その他の包括利益合計	△9	108
四半期包括利益	△59	1,048
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△57	1,051
少数株主に係る四半期包括利益	△2	△2

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連 事業	インテリア家具 事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	4,011	334	107	4,453	4,453
セグメント間の内部売上高 又は振替高	325	20	—	345	345
計	4,337	354	107	4,799	4,799
セグメント利益又は損失 (△)	680	57	△16	721	721

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	721
セグメント間取引消去	△39
全社費用(注)	△332
四半期連結損益計算書の営業利益	349

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				合計
	照明器具 関連事業	環境関連 事業	インテリア家具 事業	計	
売上高					
外部顧客への売上高	8,527	940	214	9,682	9,682
セグメント間の内部売上高 又は振替高	922	42	—	965	965
計	9,449	982	214	10,647	10,647
セグメント利益又は損失 (△)	2,415	162	△59	2,519	2,519

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,519
セグメント間取引消去	△54
全社費用（注）	△282
四半期連結損益計算書の営業利益	2,182

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門に係る費用であります。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、平成24年6月5日を払込期日とする一般募集による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ1,126百万円増加し、同日を払込期日とする一般募集による自己株式の処分により、その他資本剰余金(自己株式処分差益)が1,736百万円増加し、自己株式が249百万円減少しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間末において資本金が4,655百万円、資本剰余金が5,039百万円、自己株式が0百万円となっております。